

# 市民とともに進める8つの環境行動

エイト

## ～ 広げよう！エコ8行動 ～



令和元年10月  
熊本県八代市



## (趣旨)

平成31年2月、本市では、令和元年度から8年度までの8年間を計画期間とする「第2次八代市環境基本計画」を策定しました。

目指す環境像「人と自然が調和するまち やつしろ」を実現するため、市、市民、環境活動団体及び事業者それぞれに求められる具体的な取組等を整理し、高い環境意識を持ち、実際に行動する「ひとつづくり」を機軸として、環境施策を推進することとしています。

しかしながら、環境分野は多岐にわたり、また、計画には、多くの具体的な取組を掲げていることから、これらの取組を浸透させていく足がかりとして、まずは簡単な取組から重点的に周知・啓発していくことが重要と考えます。

このようなことから、平成30年10月に供用開始した「エコエイトやつしろ」が担う環境情報を発信するという役割や機能を踏まえ、誰でも取り組むことができる、市民生活に密着した8つの取組を“市民とともに進める8つの環境行動～広げよう！エコ8（エイト）行動～”として、今後、広く周知していくこととします。

### “市民とともに進める8つの環境行動”

- |                          |                     |
|--------------------------|---------------------|
| 1 “燃えるごみ”を減らします。         | 5 “節電”に取り組みます。      |
| 2 買物時はマイバッグを持参します。       | 6 “節水”に取り組みます。      |
| 3 “MOTTAINAI”食べ残しをなくします。 | 7 空き地などを適正に管理します。   |
| 4 “資源物”はきちんと分別します。       | 8 環境問題について学び、行動します。 |



ごみをへらす



《環境行動 1》

## “燃えるごみ”を減らします。

- ごみを減らす合言葉は、①リデュース（ごみを減らす：Reduce）、②リユース（くり返し使う：Reuse）、③リサイクル（資源として活かし、利用する：Recycle）の3つを意味する“3 R（スリーアール）”です。
- マイバッグを使う、詰め替え商品や簡易包装商品を選ぶ、リサイクルショップを活用するなどの取組により、発生するごみの全体量を減らし、どうしても不要になったものは、きちんと分別して、「資源の日」に排出することが重要です。
- 八代市では、“燃えるごみ”の約4割が生ごみです。生ごみを堆肥化することでもごみを減らす取組として有効です。





ごみをへらす



《環境行動 2》

## 買物時にはマイバッグを持参します。

- 現在、日本では、国民一人当たり、年間150枚のレジ袋を使用していると言われています。
- 近年では、マイクロプラスチック<sup>(※)</sup>による地球規模の海洋汚染が問題となっており、生態系に及ぼす影響が懸念されています。ペットボトルやレジ袋をはじめ、プラスチックごみの削減が急務となっています。

※サイズが5 mm以下の微細なプラスチックごみ。化粧品や洗顔剤などに含まれるマイクロビーズのほか、ポイ捨てされたプラスチックごみなどが海に流れ込み、小さくなったもの。

- レジ袋の使用を減らすことで、ごみとしての処理コストを抑制することに加え、石油資源の消費抑制や地球温暖化防止などの観点から、買物時のマイバッグ（買物袋）持参が全国的に呼びかけられています。





ごみをへらす



《環境行動 3》

も っ た い な い

## “MOTTAINAI”食べ残しをなくします。

- 日本は、食料の多くを海外からの輸入に頼る一方で、多くの食品を食べずに廃棄しています。本来食べられるにも関わらず捨てられた「食品ロス」は、平成28年度、日本全体で年間約643万トン、また、国民一人当たりでは年間約51キログラムと推計されています。
- この量は、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量（平成29年度：年間約380万トン）と比較すると、約1.7倍に相当します。
- 食品ロスの約半分は、家庭から発生しています。買物時に「買いすぎない」、料理を作る際「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」、そして、きちんと「食べきる」ことが重要です。





ごみをへらす



《環境行動 4》

## “資源物”はきちんと分別します。

- 八代市では、家庭から出るごみを“燃えるごみ”と“資源物（22品目）”に分別をお願いしています。
- しかしながら、“燃えるごみ”の約2割は“資源物”として分別できるものが混入しています。最も多いのは、プラスチック製容器包装で、次いで雑紙、紙製容器包装の順となっています。
- リサイクル（再生利用）は、3 Rの中では、ごみを減らす最後の手段とされています。まずは、リデュース・リユースの2 Rで、ごみを減らし、どうしても廃棄する必要がある場合は、資源として活かされるよう、きちんと分別することが重要です。





省エネをすすめる



《環境行動 5》

## “節電”に取り組みます。

- 家庭のエネルギー消費の約半分は電気です。エアコンなどの空調機器や冷蔵庫、照明器具、テレビなどが多くの電力を消費しています。
- 消費電力を減らすためには、不要な電灯を消す、テレビをつけっぱなしにしないなど、家電製品の無駄な使用を控えることが重要です。また、家庭で1年間に消費する電力量のうち、約5%が待機電力です。こまめに主電源を切る、長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜くことも有効です。
- 家電製品を買い換える際には省エネルギーラベルなどを参考にして、省エネ型製品を選ぶことも「賢い選択(=COOL CHOICE: クールチョイス)」の一つです。





水をまもる



《環境行動 6》

## “節水”に取り組みます。

- ・八代市は、球磨川や氷川に代表される河川、豊かな地下水、そして八代海など、水資源に恵まれた地域です。特に、地下水については、生活用水のほか、農業用水や工業用水などに、広く利用されています。
- ・しかし、世界的に見ると、地球上にある水の約97.5%は海水などで、私たちが利用しやすい河川や湖の水はわずか0.01%程度とされています。
- ・水は限りある貴重な資源です。歯磨きや洗顔、炊事の際には水を出しっぱなしにしない、洗濯物はまとめて洗う、お風呂の水は再利用する、節水商品を利用するなど、できることから節水に取り組むことが重要です。





環境美化につとめる



《環境行動 7》

## 空き地などを適正に管理します。

- 近年、空き地や空き家など、管理されていない土地や建物が社会問題化しています。
- このような場所は、ごみの不法投棄や雑草の繁茂、害虫の発生など、地域の衛生環境の悪化につながっており、実際に、苦情や相談も非常に多くなっています。
- きれいで住みよい地域環境をつくるためには、定期的に所有地の雑草を刈り取ったり、清掃を行ったりするなど、所有者が適正に管理していくことが重要です。





環境に関心をもつ



《環境行動 8》

## 環境問題について学び、行動します。

- 環境の現状に関心を持ち、環境保全に対する理解を深めることが、環境問題を解決する第一歩です。
- “Think Globally、Act Locally”（地球規模で考え、足元から行動しよう）の考え方にあるように、環境問題の解決には、一人ひとりが、できることから実際に行動に移していくことが非常に重要です。
- 新たなごみ処理施設「エコエイトやつしろ」では、「ごみ」を処理するだけでなく、多くの方々に環境問題について学んでいただくため、団体や個人の方でも施設見学を受け入れています。
- 環境学習の場として、「エコエイトやつしろ」を是非ご活用ください。

